

科名: 住居環境科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間/週
教育訓練課程	専門課程	建築測量	必須	3期集中	2	36
教科の区分	専攻学科					
教科の科目	建築測量					
担当教員		内線電話番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
総合建設業における施工管理業務 工務店(住宅)における施工・施工管理業務 設計事務所における生産管理業務						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
実践技術者として建築物の調査・企画・施工に必要な測量技術の基礎知識を学びます。	①	測量の基準、分類、単位について知っている。				
	②	測定値と誤差について知っている。				
	③	縮尺について知っている。				
	④	建築工事に必要な測量と計測管理について知っている。				
	⑤	水準測量器具、水準測量作業要領について知っている。				
	⑥	踏査と計画、選点、距離測量、角の測定、計算について知っている。				
	⑦	型枠工事の工事測量について知っている。				
	⑧	コンクリート工事の工事測量について知っている。				
	⑨					
	⑩					

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	測量を行なっている現場は日常でも見る機会は数多くあります。現場で作業を行ったあとは、測量結果を元に計算作業、図面作成を行ないます。そのため、建築数学で学んだ三角関数について復習しておくことを勧めます。必要に応じて関数電卓の使い方も理解しておくとい良いでしょう。
授業科目についての助言	建物を施工するに当たって、測量は必要不可欠なものです。ここでは、各種測量技法と建築工事測量を学びます。最初に各種の測量機器を用いた測量方法の知識を理解した上で建築工事における工事測量と検測(精度測定など)の内容と実施方法について習得します。
教科書および参考書(例)	教科書:図説 建築測量(産業図書)
授業科目の発展性	

評価の割合(例)								
指標・評価割合	評価方法	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
	評価割合		100					
授業内容の理解度		100						
技能・技術の習得度								
コミュニケーション能力								
プレゼンテーション能力								
論理的な思考力、推論能力								
取り組む姿勢・意欲								
主体性・協調性								

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1	測量概要 (1) 測量の基準、分類、単位 (2) 測定値と誤差	講義	測量についての定義、基準、誤差について確認しておいて下さい。
2	距離測量 (1) 距離測量の手法	講義	距離測量(測距)の手法について確認しておいて下さい。
3	距離測量 (1) 距離測量の手法	講義	距離測量の精度である最確値や較差、補正について復習しておいてください。
4	多角測量 (1) 機器の取扱い方と据付け方 (2) 放射法およびトラバース測量による測量	講義	機器(セイドライト・TS)の取扱いについて復習しておいて下さい。
5	多角測量 (1) 機器の取扱い方と据付け方 (2) 放射法およびトラバース測量による測量	講義	機器(セイドライト・TS)の取扱いおよび閉合誤差について復習しておいてください。
6	水準測量 (1) 標尺の読み取りと野帳の記入 (2) 測定誤差の調整と標高確定	講義	水準測量について基本事項を復習しておいてください。
7	建築工事測量	講義	各種建築工事への作業手順について復習しておいて下さい。
8	建築工事測量	講義	各種建築工事への作業手順について復習しておいて下さい。
9	建築工事測量	講義、試験	各種建築工事への作業手順について復習しておいて下さい。